

八戸～苫小牧間フェリー航路に 新造船「シルバーエイト」が就航しました！

八戸港湾・空港整備事務所

平成25年6月30日(日)、八戸～苫小牧間のフェリー航路に新造船「シルバーエイト」が就航し、就航セレモニーと船内見学会が開催されました。同船はこれまで就航していた「ベガ」の代替船として建造され、船名は、八戸～苫小牧航路の愛称である「シルバーフェリー」と、航路の起点であり船籍港でもある「八戸港」に因んで名付けられたそうです。



▲シルバーエイト



▲就航セレモニー

「シルバーエイト」が就航する時間帯は、八戸港22時発→翌日6時苫小牧着で旅客の利用が最も多い便となります。コンセプトが「やすらぎ」と「団らん」ということで、アースカラーを基調とした、和のテイストを織り込んだ落ち着いた雰囲気のある船内になっています。



▲1等和室



▲1等2名洋室 (ペット同伴室)



▲オートレストラン

八戸～苫小牧航路が開設して今年で40周年を迎える節目に就航した「シルバーエイト」は、昨年4月に就航した「シルバープリンセス」に続いて2年連続の新造船の投入となります。東日本大震災からいち早く復旧を遂げつつある八戸港に活気を取り戻し、東北の復興をはじめ、観光振興や物流の活性化に大きな期待が寄せられています。

